政治資金 収支が増加

昨年分 知事・衆院選で

県選挙管理委員会は、県内の政治団体が提出した2014年分の政治資金収支報告書を公表した。前年からの繰越金を除く収入額は前年比27・4％増の15億3482万円。支出総額も23・8％増の14億9278万円で収支ともに増加した。

選（同12月）があったことが要因とみている。

政治資金規正法は、県単位で活動する政党やその他の政治団体に、各選管に毎年報告書の提出を義務づけている。県内では954団体が対象で、提出したのは898団体だった。

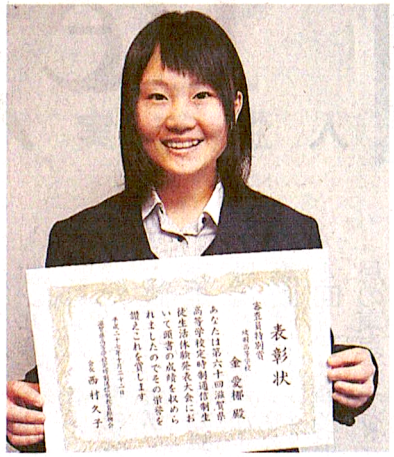
前年比19・2％増の10億8813万円、支出の合計は13・9％増の10億7178万円。政党別では、自民、民主、共産は収入、支出ともに増加した。3党は衆院選で全4区に公認候補を擁立。自民、共産は知事選候補を推薦して、党本部などから交付金や助成金、寄付金が増えた。民主は知事選で推薦を出さなかったが、同党出身の三日月大造氏が立候補し、「推薦並みの特別体制で、党本部から交付金が出る異例の措置だった」（民主県連の担当者）。政党の支出は人件費、光熱費などの経常経費が微減した一方で、選挙活動費を含む政治活動費が26％増え、6億5686万円に上っ

前年比(%)
4.6
29.0
17.4
▲24.3
—
▲41.2
▲24.4
▲91.2

金額は千円以下切り捨て。前年比の▲はマイナス、小数点第2位以下四捨五入。収入額は前年から繰越金を含まない。日本維新の党の会は14年7月に設立。解散。みんな維新の党は同8月に設立。関係する政党は同6～11月に解散

正しいこと見極めたい

県定通制高校スピーチ発表で特別賞 金愛梛（きんえな）さん（15）



県内の通信制や定時制の高校で学ぶ生徒が、学校生活をテーマにスピーチを披露する「県高校定時制通信制生徒生活体験発表大会」。10月にあった大会で、審査員特別賞に輝いた。「人前で話すのは苦手だけれど、頑張ってよかった」

約7分の発表では、ヘイトスピーチに遭った経験を語った。当時の恐怖や不安な思いを明かす一方で、温かい声を掛けてくれた見知らぬ人や友達の存在が支えになったと振り返り、「違いを超え、正しいことを見極める目を育てていきたい」と述べた。本番では、聞き手の目を見て話すことを心がけたという。

今年4月から綾羽高校（草津市）の昼間定時制課程の食物調理科で学ぶ。調理や食についての専門的な学習に加え、飲食店などで働きながら学ぶインターンシップが特徴だ。朝から昼過ぎまで学校の教室で授業を受け、その後は、京都市内のホテルの厨房（ちゅうぼう）で仕事に打ち込む。

夢は人々の健康を支える管理栄養士。「料理を食べた人が『おいしい』と喜んでくれると、うれしくなる。たくさんの人の笑顔が見たい」（八百板一平）

ひと交差点

世界に広がる知見発信

大津で出版社「大隅書店」を創業し5年 大隅直人（おおすみなおと）さん（48）

2010年11月に大津市で出版社「大隅書店」を創業して5周年を迎えた。「良きものを次世代に手渡す」ことが書物の使命と考え、本作りを続けている。

北海道出身で京大文学部卒。京都市内の学術系出版社に編集者として勤め、多くの筆者の信頼を得て、02年にフリーに。「本作りを通じて世の中を良くしたい。40歳を過ぎて、そんな本を出していける自信が持てた」と10年4月、県産業支援プラザの創業準備オフィスに入居して出版社を立ち上げた。

これまで出した書籍は15点。映画や教育、ヨガの起源や茶道流派の比較分析などジャンルは多岐に及ぶ。「基準は面白いかどうか。いろんなことに興味がある」。近刊「十人十色の子どもたち」の筆者は草津市で発達障害児らの塾を開く経営者。10月に井伊直弼を主人公にしたSF小説「メビウスゲイト桜田門」を刊行するなど、県にまつわる本が続く。

出版業界の現状は厳しいが、電子書籍化を積極的に進めるなど「できることはまだあるはず」。世界に広がる知見を滋賀から発信するのが夢だ。（新井正之）

輝け☆

広島に

プロバスケッ
グ滋賀レイク
28、29日に草津
育館に広島ラ
迎えて2連戦を
8－86、12
した。通算成績
になった。

障害者

仕事の

障害者が仕事
県障害者技能
ビリンピック
日、近江八幡市
能力開発短期
た。障害者の
用促進を目指
で、88人が電
立てや縫製な
分かれて競技
模擬喫茶店「
茶サービス」

「石垣

近江八幡市の
大石垣を新幹
ようにしよう、
いる地元の人
「豊かな杜（も